



# 学校だより

令和6年3月21日  
たより9号(3月号)  
新潟市立岡方第二小学校

目指す子どもの姿「伝え合い、認め合い、チャレンジする子」

## 令和5年度 後期終業式を終えて

令和5年度後期終業式を今日無事に終えることが出来ました。明日の卒業式を入れると203日間(1年生は202日)、毎日、子どもたちの登下校の安全を見守ってくださった「岡二見守り隊」の皆様に、まず心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

終業式では、1年生 野村柊司さん、3年生 坂上明日菜さん、5年生 齋藤亮太郎さんが、後期を振り返って発表をしました。



たくさん漢字を覚えたこと、書初めや算数の勉強を頑張ったこと、六送会を頑張ったことや6年生になったら最高学年として全校を引っ張っていきたいということなど、しっかりと発表する代表の皆さんから、一年間の成長を感じました。

その後、次のような校長の話がありました。

### 「ありがとう」

1年生から6年生の皆さん、先生方、用務員さん、給食の調理員さん、コーディネーターさん、ボランティアの皆さん、すべての方に「ありがとうございました」と伝えたいです。

1~6年生の皆さんは、校長先生がいつ見に行っても、1時間目から6時間目まで、しっかりと勉強していました。すごいなと思います。

岡二見守り隊のある方が、「私は見守り隊をして7年間経ちました。今の6年生が1年生の頃から、一緒に歩いてきました。低学年の頃と6年生になった今を比べると、話しかけてくる口数は減ってきたけれど、体も心も成長したなと本当に思います。」とおっしゃっていました。

楽しかったことやうれしかったこともあったし、大変なことや、つらいこと、けんかしたこともあったことでしょう。大変だったことがあったからこそ、今の皆さんの成長した姿があるのだと感じています。

明日は卒業式です。6年生に「ありがとう」の気持ちを歌や拍手で送ってあげましょう。

では最後に、卒業式に歌う「さよなら友よ」の歌詞を作った方のお話をします。

「阪田寛夫 さかた ひろお」さんという童謡詩人の方が歌詞をつくりました。「夕日がせなかをおしてくる」「サッチャン」「ねこふんじゃった」などの童謡を皆さんも知っているでしょう。「土の器」で芥川賞を受賞した作家でもあります。人の優しさを歌詞にあらわす詩人の方と感じます。

では三番を、校長先生が歌います。聞いてください。

「草の芽のびゆく 春の道 行く手しめして うかぶ雲 別れの時が 今せまる さよなら友よ さよなら友よ 忘れまい この日を いつまでも ♪」

明日は、6年生12名の旅立ちの日、卒業式です。お世話になった6年生に感謝し、「おめでとう」の気持ちを全校児童、職員で送りたいと思います。

また、在校生の皆さんは、卒業式の6年生の姿を見ながら、もうすぐ、一つ学年が上がることを意識してほしいと思います。